

# 「男だから」？ 「女だから」？ その言動に「モヤモヤ」しませんか

「女性ならではの気配り」「男なら泣くな」などの言葉には、「女性はこうあるべき」「男だからこう」といった、性別に関する固定的な意識が潜んでいるのではないのでしょうか。今回の特集では、ジェンダー(※1)に関する言葉や行動、その裏に潜む意識について考えました。

※1 ジェンダー(gender)…男性と女性の生物学的性差(sex)とは別に、社会的文化的につくられてきた性差のこと

## 「こうあるべき」なの？



はあもにい通信2019.10月号「男と女の△劇場」(画/ブンノ絵巳)から

### 一人一人の意識をアップデートしよう！

「女だから…」「男だから…」という言動に対して、モヤッとしたことはありませんか？

内閣府(令和3年度)性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究(※2)によると、「男性は仕事をして家計を支えるべき」「女性は感情的になりやすい」などの項目について、「直接言われた経験」「言動や態度から感じた経験」が男女ともに上位に挙がっています。

性別に対する無意識の偏見や固定的な役割分担意識から発せられる言葉や行動で、気付かないうちに誰かを不快にさせたり、傷付けたりする可能性があります。近年では、情報を発信する側が注意すべき、ジェンダーに関する表現のガイドラインや書籍などが出されました。

この特集がこれまで気付いていなかった自分自身の思い込みや偏見を見直し、意識をアップデートする機会になればと思います。

※2 対象:全国男女20-60代 10330人(男性5069人、女性5165人、その他96人)

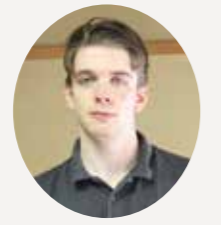
## 私たちがこんな言動に

## モヤッとしちゃいました！

性別や年代、国籍もさまざまな4人が集まり座談会を開催。ジェンダー表現についてモヤモヤした体験談を話したり、意見を交わしたりする中で、それぞれの「当たり前」について考えました。



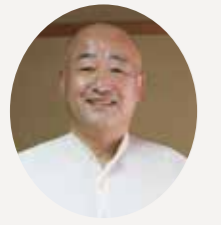
**本田由紀さん(41)**  
会社経営。小学生、中学生、高校生の娘と暮らす。会社員時代「子どもがいるから飲み会は難しいよね」と言われ、モヤッとしたことがある。



**ドーズウェル・マットさん(20)**  
大学生。留学のためイギリスから来熊。日本のTV番組で、男女で出演者の扱いに差があることに違和感を覚えている。



**中津海麻紀さん(43)**  
はあもにい編集員。小学生、5歳の息子の子育て中。夫と不動産会社に行った際、営業担当者が夫にだけ名刺を渡したことにモヤモヤした経験がある。



**山口達也さん(61)**  
はあもにい編集員。パート勤務。妻と2人暮らし。周りから「男性なのに」と思われそうで、好きな赤色のシャツを着られないことがある。



### 「母親だから飲み会は無理は気遣い？ 無意識の偏見？」

「これまでモヤッとした「性別への思い込みによる言動」はありますか？」

**山口** フルタイムの仕事で退職後、家事を妻と分担しています。妻から「庭仕事は男の仕事だからやって」と言われたことがあり、「男の仕事」は余計かなと感じました。

**本田** わが家は娘が3人いるのですが、三女が「女の子だからピンクがいい」と言ったのでびびりました。本人がピンクを好きならまだしも、一体何が影響して「ピンク＝女の子の色」と思っただけなのか…。

**中津海** 以前、夫と不動産会社に行った際、営業の担当者から夫にだけ名刺を渡され、商談に入りました。あくま

で夫主導で妻は添え物のように思えました。帰宅後、夫に不満を言っても夫は「そっだったっけ？」の一言。当事者じゃないと気付きにくいものなのでしょうね。

**マット** 日本では、一部の人が「O」と女性だけを特化した表現を使っていることに驚きました。テレビを観ていると、男性の有識者主導で、女性コメントーターは相づちを打つだけのケースが目立ちます。イギリスの番組は女性も男性も対等にコメントしています。

**中津海** 以前と比べると日本も「男女平等」を意識するようになってきたと感じますが、ヨーロッパ出身の方から見るとまだまだということですね。

「お互いの体験談を聞いてどう思いますか？」

**山口** 中津海さんがおっしゃったように、言われた当事者じゃないとその言葉の裏にある「無意識の偏見」に気付くにくいと思います。それから当事者の受け止め方によっても言葉の印象は大きく変わるのではないのでしょうか。

**本田** 以前勤めていた会社で「子どもがいるので飲み会は難しいですよ」と言われ、「子育ては女性の仕事」と決めつけられた感じがしました。しかし今思えば、相手は気を遣って言ったつもりだったのかも。

**中津海** 私だったら気遣いと捉えるかもしれませんが。夜の外出となると夫に子どもをお願いできるかなど、確認の手間もあります。ただ、昔も今も「夜の外出は無理でしょうか」という質問はあまり男性にはされない気がします。

出は無理でしょうか」という質問はあまり男性にはされない気がします。

**マット** 父親が仕事後すぐに家に帰ってこない、子どもが寂しい思いをするのではないかと思います。

**本田** 日本だとそれが「母親だったから、より子どもがかわいそう」と思われてしまいそうですよね。

**相手との関係性を気にして表現への指摘をためらうことも**

「主人」「奥さん」など、パートナーの呼び方について思うことはありますか？」

**本田** 周りの女性が自分の夫を「旦那」と言うのにも違和感があります。よその家庭のことなので指摘しづらいです。

**中津海** 相手との関係性も考えると「旦那や主人じゃなくて夫だよ」なんて、言



それぞれの経験談に共感する座談会メンバー